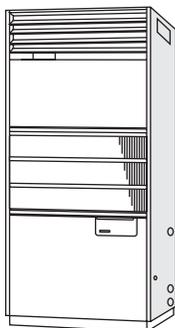


水冷式エアコン



掲載機種

UCDPS775C(Y)
UCDPS950C(Y)
UCDPS1180C(Y)

- このたびは水冷式エアコンをお買上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。
正しくお使いいただくために、ご使用前に、必ずお読みください。
お読みになった後、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、必ずこの取扱説明書をお渡しください。
- この取扱説明書でのクーリングタワーに関する内容は、ダイキン製品をご使用になっている場合を記載しています。ダイキン製品以外のクーリングタワーをご使用になっている場合は、お手入れのしかたが異なることがありますので、必ず、クーリングタワー付属の取扱説明書および注意書などをお読みください。
なお、不明な点はお買上げの販売店にご相談ください。

ご使用前に		ご使用前に
安全について		
必ず守ってください	1	
各部の名前と働き	4	
操作部各部の名前と働き	5	

運転について		運転について
運転のしかた		
冷房・送風運転のしかた	6	
暖房運転のしかた		
温水または蒸気ヒーター付の場合	8	
温度設定	10	
上手な使いかた	11	

お手入れについて		お手入れについて
お手入れのしかた		
日常のお手入れ	12	
シーズン始め・終わりのお手入れ	15	
エアコンのメンテナンス(サービスマン用)	16	

知っておいてください		知っておいてください
調子がおかしいときは	17	
別売品について	20	
アフターサービスと保証について	21	
お客様ご相談窓口	裏表紙	

ご使用の前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください

- ここに示した注意事項は、次の2種類に分類しています。いずれも安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠注意	誤った取扱いにより、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性のあるもの。状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。

- 本文中の絵表示は、次のような意味を表わしています。

	絶対にしないでください。		必ず指示どおりに行ってください。		必ずアース工事をしてください。
	絶対にぬれた手で触れないでください。		絶対に水にぬらさないでください。		

⚠警告 使用上の注意事項

- 長時間冷・温風を体に直接当てたり、冷やし過ぎ・暖め過ぎをしない
体調悪化・健康障害の原因になります。



- ヒューズ付負荷開閉器の場合、正しい容量のヒューズ以外は使用しない
針金などを使用すると故障や火災の原因になります。



- 運転中、吸込口・吹出口や吹出グリル羽根に指や棒などを入れない
ファンが高速で回転しており、けがの原因になります。



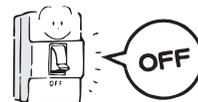
- 分解や改造・修理をしない
水もれ・感電・火災の原因になります。お買上げの販売店にご依頼ください。



- 冷媒がもれたら火気厳禁
エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常もれることはありませんが、万一、冷媒が室内にもれ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買上げの販売店にご連絡ください。冷媒もれの修理の場合は、もれ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認の上、運転してください。



- 異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止して電源をしゃ断する
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。お買上げの販売店にご連絡ください。



- 洪水・台風など天災でエアコンが水没したときは、お買上げの販売店に相談する
運転をすると、故障や感電・火災の原因になります。



⚠️ 注意 使用上の注意事項

●ほかの目的に使用しない

食品・動植物・精密機器・
美術品の保存など特殊用途には
使用しないでください。
品質低下の原因に
なることがあります。



禁止

●クーリングタワーのファンガードを 取り外さない

ファンが露出し、
けがの原因に
なることがあります。



禁止

●エアコンのまわりにぬれて困るものは置かない

湿度が80%以上の場合や
ドレン出口が詰まっている、
またエアフィルターが
汚れている場合には、
露が落ちることがあります。



禁止

●エアコンの風が直接当たるところで 燃焼器具を使わない

燃焼器具の不完全燃焼の
原因になることが
あります。



禁止

●エアコンの上に乗ったり 物を載せたりしない

落下・転倒などにより、
けがの原因になることが
あります。



禁止

●可燃性スプレーを近くに置いたり 吹き付けたりしない

引火のおそれがあります。



禁止

●動植物に風を直接当てない

動植物に悪影響を
およぼす原因に
なることがあります。



禁止

●室内ユニット・クーリングタワーの 吸込口やアルミフィンにさわらない

けがの原因になることがあります。



禁止

●電源ブレーカーによるエアコンの 運転や停止をしない

火災や水もれの原因になることがあります。
また、停電補償が有効に設定されている場合、
ファンが突然回り、けがの原因になることがあります。



禁止

●ぬれた手で操作しない

感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

●エアコンを水洗いしない

感電や火災の原因に
なることがあります。



水ぬれ禁止

●エアコンの上に花瓶など 水の入った容器を載せない

内部に浸水して電気絶縁が
劣化し、感電や火災の原因に
なることがあります。



水ぬれ禁止

●ほかの燃焼器具と併用の際は、 こまめに換気をする

換気が不十分な場合は、
酸素不足の原因に
なることがあります。



●長期間使用で据付台などが 傷んでいないか注意する

傷んだ状態で放置すると
ユニットの落下・転倒につながり、
けがの原因になることがあります。



●清掃時は必ず運転を停止し、 電源をしゃ断する

感電やけがの原因に
なることがあります。



●室内ユニット内部の洗浄は販売店に相談する

誤った方法で洗浄を行うと、
樹脂部分が破損したり
水もれなどの故障や感電の原因に
なることがあります。



●クーリングタワーの周辺に物を置いたり、 落ち葉がたまらないようにする

落ち葉などがあると、小動物が侵入して、
内部の電気部品に触れると、
故障や発煙・発火の原因になることが
あります。



警告 据付上の注意事項

●据付工事は、自分でしない

据付けに不備があると、
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●別売品の取付けは、自分でしない

別売品は当社指定以外のものを使用しない
取付けに不備があると、
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店または
ダイキンコンタクトセンターに
ご依頼ください。



禁止

●移動・再設置は、自分でしない

据付けに不備があると、
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●アース工事を行う

アースが不完全な場合は、感電や火災の原因になります。
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話の
アース線に接続しないでください。



●漏電しゃ断器を取り付ける

1台につき1個の漏電しゃ断器を取り付けて
ください。取り付けられていないと、感電
や火災の原因になることがあります。



●電源は必ずエアコン専用の電源を使用する

専用以外の電源を使用すると
発熱・火災・故障の原因になります。



●冷媒もれ対策は、販売店に相談する

万一、冷媒がもれて限界濃度を
超えると、酸欠事故の原因になります。
小部屋に据え付ける場合は、冷媒が
もれても限界濃度を超えないように
対策する必要があります。



注意 据付上の注意事項

●可燃性ガスのもれるおそれのある場所へは設置しない

万一、ガスがもれてユニットの
周囲に溜まると、発火の原因に
なることがあります。



禁止

●ドレン配管は、確実に排水するように 施工する

不備があると、屋内に水もれし、
汚れや故障の原因になることが
あります。



据付場所について

●まわりに障害物のない風通しの良いところに 設置されていますか？

●次のような場所では使用しないでください。

- 切削油など鉱物油の立ち込めるところ
- 調理場など油の飛沫や蒸気の多いところ
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 温泉地帯など硫化ガスのあるところ
- 酸・アルカリ性蒸気の立ち込めるところ
- 工場など電圧変動の多いところ
- 車両・船舶への搭載など
- 電磁波を発生する機械のあるところ
- 煙突など排気口の近く

●防雪対策されていますか？

詳細はお買上げの販売店へご相談ください。

●ポンプはクーリングタワーより低い位置に 設置されていますか？

電気工事について

●電気工事・※D種接地工事の施工には資格が 必要です。

お買上げの販売店に依頼し、ご自分では
なさらないでください。

※300V以下 : D種接地工事
300Vを超える : C種接地工事

●エアコン専用の回路をご使用ですか？

運転音にもご配慮を

●次のような場所を選んでいませんか？

- エアコンおよびクーリングタワーの
重量に十分耐え、運転音や振動が
増大しないようなところ
- クーリングタワーの吹出口からの温風や
運転音が近隣の迷惑にならないようなところ

●クーリングタワーの吹出口近くに障害物が ありませんか？

機能低下や運転音増大のもとになります。

●使用中に異常音がする場合はお買上げの 販売店にご相談ください。

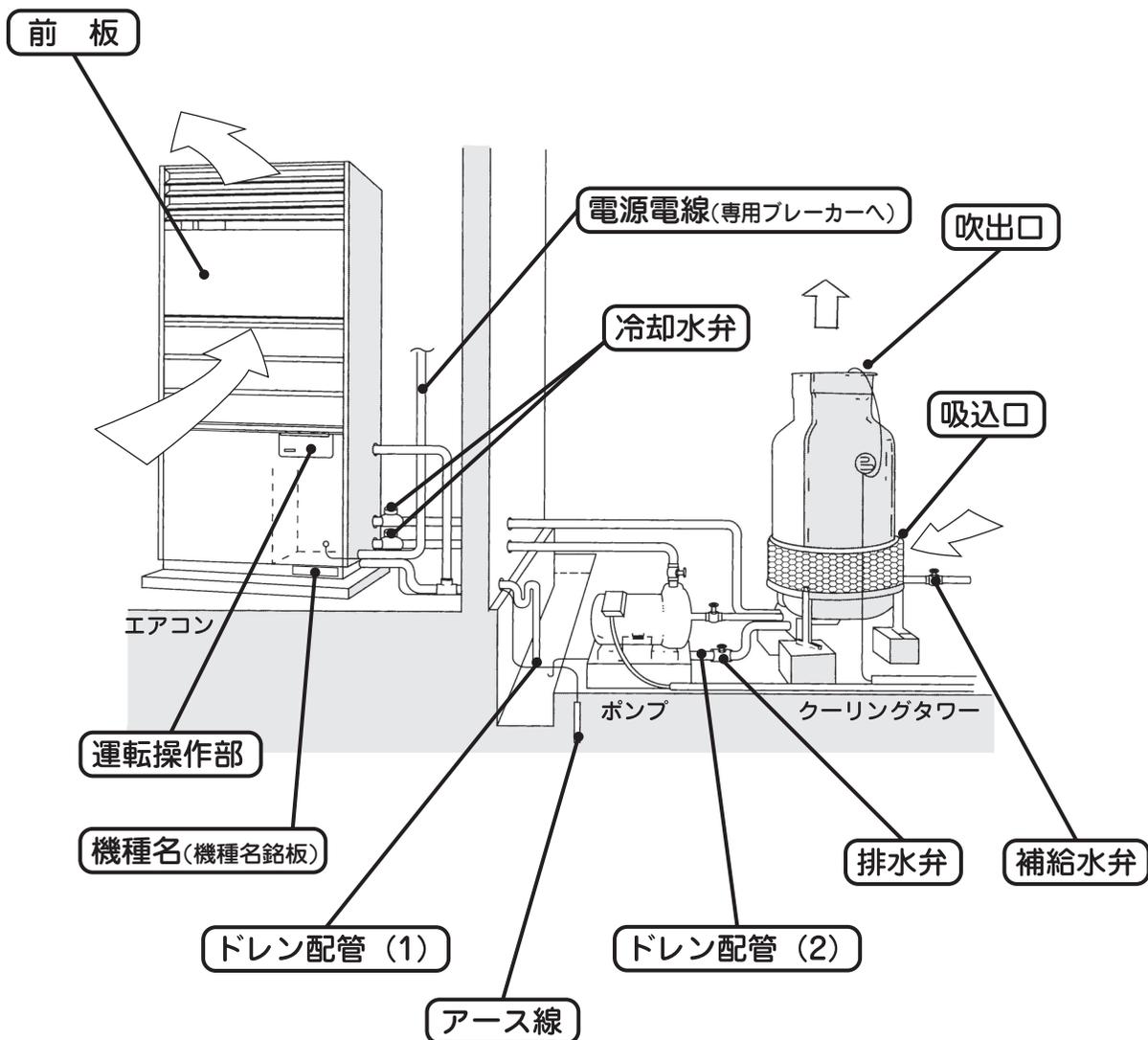
ドレン配管の排水について

●ドレン配管は確実に排水するよう施工されて いますか？

冷房運転時、ドレン配管から排水されて
いない場合は、ドレン配管内でゴミ・ホコリ
などがつまり、エアコンから水がもれる
原因になることがあります。
運転を停止して、お買上げの販売店に
ご相談ください。

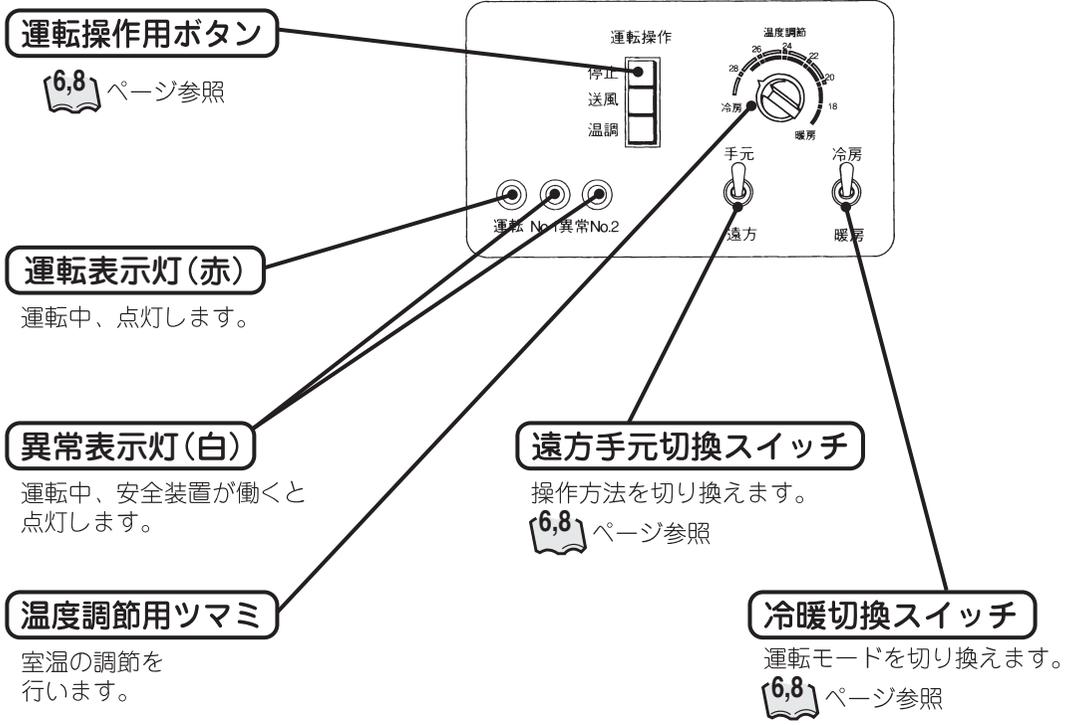
各部の名前と働き

使用の前に



万一の感電・火災防止のため
エアコンから大地へ
電気を逃がす線です。

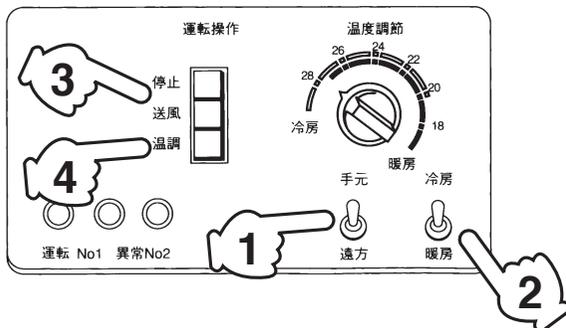
操作部各部の名前と働き



冷房・送風運転のしかた

準備

- ポンプおよびクーリングタワーの電源を入れてください。
(井戸水をご使用の場合は、井戸水ポンプの電源を入れてください。)
- 冷却水弁が十分開いていることをご確認ください。
冷却水配管に通水しないで運転すると、安全装置が働いて機械が停止します。



1

遠方手元切換スイッチを
手元へ倒します。

- エアコンが遠方から操作できるように施工されている場合は、施工業者から運転のしかたの説明をうけてください。

2

冷暖切換スイッチを
冷房にします。

3

送風ボタンを押します。
運転表示灯が点灯し、
吹出口から風が出ます。

4

温度ボタンを押します。
冷房運転を開始します。

送風

1~2の操作をします。
送風ボタンを押します。
運転表示灯が点灯し、
送風運転を開始します。

停止

停止ボタンを押します。
運転表示灯が消灯し、
運転を停止します。

温度の設定

シーズン始めの運転、または設定を変えたいときは、ご希望により、**10** ページの操作を行ってください。

運転の内容と働き

冷房



おすすめ
設定温度は、
26~28℃

送風

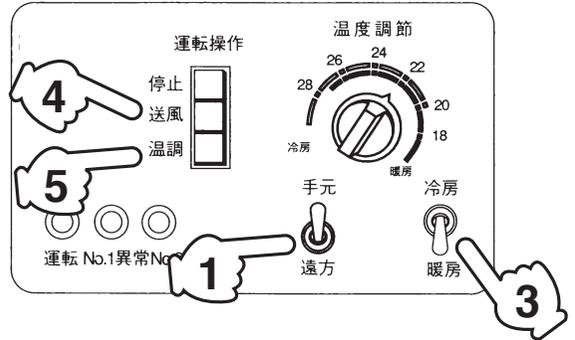
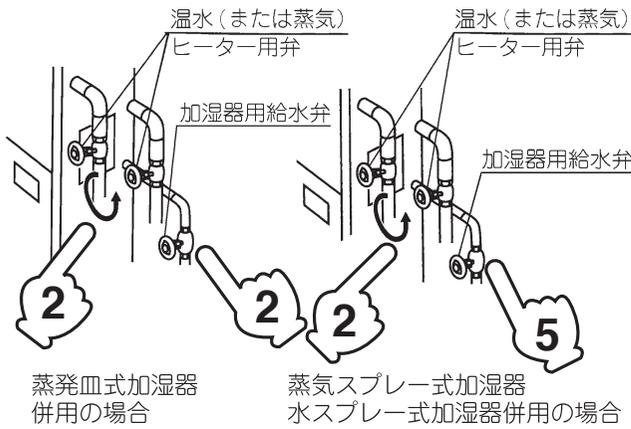
室内の空気を循環させます。

- 運転中に停電した場合は「停止」の操作を行ってください。
停電復帰後はもう1度前頁の要領で運転操作を行ってください。
(遠方操作でご使用の場合、停電復帰後自動的に再運転することや、異常表示が点灯することがあります。)
注意してください。
- 冬期にはエアコンを冷房運転で使用しないでください。
室内温度・冷却水温度が低すぎると、機械の故障につながる可能性があります。
—— 限界温度 ——
室内温度…14℃W.B.
冷却水入口温度…15℃
- 運転停止後、再運転する場合は必ず3分以上お待ちください。
- 温水または蒸気ヒーター付エアコンの場合、冷房運転を始める前に、ヒーターの水を必ず抜いておいてください。ヒーター内の水が凍結して放熱管が破れることがあります。
水抜きの方法はお買上げの販売店にご相談ください。
- 冷却水はクーリングタワーより供給してください。
(できるだけ井戸水のご使用はさけてください。)
- 冷却水には「冷凍空調機器用冷却水質基準 (JRA9001)」に適合したものを使用してください。

低圧圧力保護について

- 室内温度や冷却水温度が低い場合、機械の保護のために自動的に送風運転に切り換わります。
約10分で冷房運転に戻ります。

暖房運転のしかた — 温水または蒸気ヒーター付の場合



運転のしかた

運転の内容と働き



1

遠方手元切換スイッチを
手元へ倒します。

- エアコンが遠方から操作できるように施工されている場合は、施工業者から運転のしかたの説明をうけてください。

2

温水または蒸気ヒーター用弁を
開けます。

- 蒸発皿式加湿器を併用されている場合は、加湿器用給水弁を開けてください。

3

冷暖切換スイッチを
暖房へ倒します。

4

送風ボタンを押します。
運転表示灯が点灯。
吹出口から風が出ます。

- 室内温度の調節はヒーター用弁の開閉、またはファンの運転、停止によって行ってください。(施工業者から説明をうけてください。)
- 温水または蒸気ヒーター用弁が電動弁の場合は、暖房運転しません。蒸発皿式加湿器を併用されている場合は加湿運転しません。次の操作に移ってください。

5

温調ボタンを押します。
運転表示灯が点灯し、
暖房運転を開始します。

- 蒸発皿式加湿器を併用されている場合は、加湿運転を開始します。
- 蒸気スプレーまたは水スプレー式加湿器を併用されている場合は、加湿器用給水弁を開けてください。

停止

停止ボタンを押します。
運転表示灯が消灯し、
運転を停止します。

- 蒸気スプレーまたは水スプレー式加湿器を併用されている場合は、加湿器用給水弁を閉めてください。

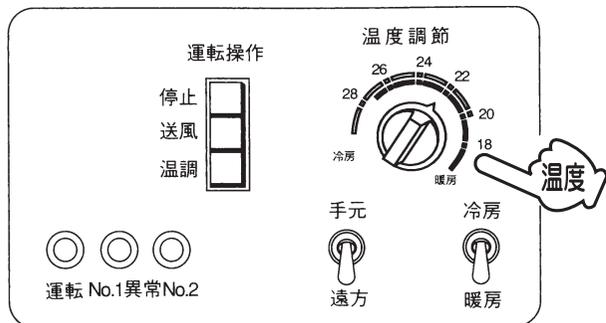
お願い

- 運転中に停電した場合は「停止」の操作を行ってください。停電復帰後はもう1度左記の要領で運転操作を行ってください。
(遠方操作でご使用の場合、停電復帰後自動的に再運転することや、異常表示が点灯することがあります。注意してください。)
- 蒸発皿式加湿器についての詳細は、付属の取扱説明書をご覧ください。
- 運転停止後、再運転する場合は必ず3分以上お待ちください。

運転開始について

- 一般的に暖房運転の場合、冷房運転と比べ設定温度になるまで時間がかかります。事前の運転開始をおすすめします。

温度設定



温度

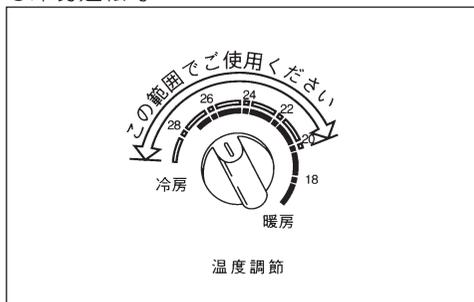
温度調節用ツマミを
セットします。

- 送風運転の場合は設定できません。
- 数字は室温設定値の目安を示します。

使用条件

温度調節用ツマミは必ず表示の範囲内でお使いください。
範囲以外でお使いになると、
故障の原因になります。

●冷房運転時



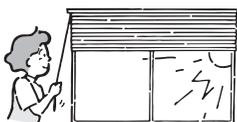
お願い

- 運転中は温度調節用ツマミのセットをひんぱんに変更しないでください。
1度セットしたら必ず3分以上お待ちください。
電源ヒューズや電源ブレーカーが切れることがあります。

上手な使いかた

●冷房中は直射日光を入れない

窓にはカーテンかブラインドをつけてください。



禁止

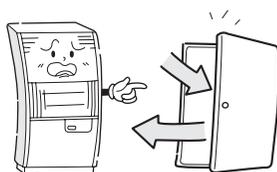
●冷やし過ぎ、暖め過ぎに注意する

電気のムダ使いになります。



●ドアや窓を開けたままにしない

運転効率が悪くなります。



禁止

●エアフィルターの清掃はこまめに

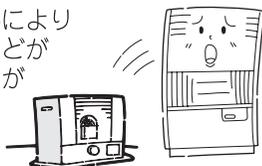
汚れたまま運転すると能力の低下、または故障の原因になることがあります。

12 ページ参照



●室内ユニットのそばでほかの暖房器具を使わない

暖房器具の熱により吸込グリルなどが変形することがあります。



禁止

●長時間使用しないときは電源をしゃ断する

電源が入っていると、数ワットの電力(※)を消費するためです。



●吹出口・吸込口の近くにものを置かない

能力が低下、または運転が停止することがあります。



禁止

●温度調節用ツマミは、ゆっくり操作し元に戻すときは必ず3分以上待つ

電源ヒューズや電源ブレーカーが切れる、または故障の原因になります。



●温度調節用ツマミは取り外さない



禁止

●風向調節を上手に使う

冷たい空気は下に、暖かい空気は上にたまります。風向は、冷房・ドライ時はやや上向きに、暖房時はやや下向きにして、体に直接当てないようにしてください。



※停止中の消費電力は、エアコンの型式などにより異なります。

⚠️ 注意

● エアコンを水洗いしない

感電や発火の原因になることがあります。



● 清掃時は必ず運転を停止し電源をしゃ断する

感電やけがの原因になることがあります。



日常のお手入れ

お願い

- 清掃時以外は、エアフィルターを外さないでください。故障の原因になることがあります。
- 吸込口に正規のエアフィルター以外のもの（キッチンペーパーなど）を取り付けしないでください。性能が低下し、凍結・水もれの原因になることがあります。

エアフィルターの清掃のしかた

- 汚れのひどいところでご使用になる場合は清掃のひん度を多くしてください。半年に1度が目安です。

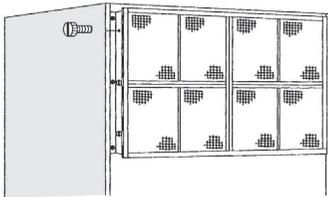
《使用状況によるご注意》

次の場合は、1ヵ月に1度清掃してください。

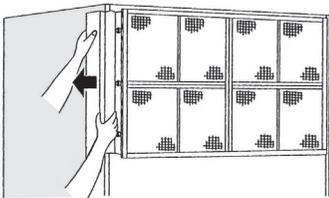
- 年中連続運転するとき
- 工場・作業場などホコリの多い場所で使用するとき

1. エアフィルター室ふたを取り外します。

- ① 背面のエアフィルター室の側面にあるローレットネジを取り外してください。

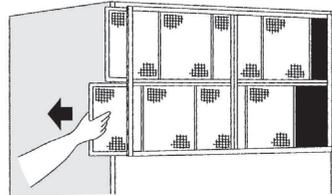


- ② エアフィルター室ふたを図のように取り外してください。



2. エアフィルターを取り出します。

エアフィルター枠が引掛構造なので、上または下にスライドすることで分割できます。



エアフィルターが取り出しづらい時は、付属のエアフィルター取出し金具を使用してください。

3. 清掃します。

取り出したエアフィルターは、清水かぬるま湯で洗ってください。

汚れがひどい場合、水切りし、日陰で柔らかいブラシや中性洗剤を使って洗ってください。



お願い

- 50℃以上のお湯で洗わないでください。変形することがあります。
- 火であぶらないでください。燃えることがあります。
- 長時間、直射日光に当てないでください。縮むことがあります。

4. エアフィルターを取り付けます。

必ずフィルターの取付方向を確認して取り付けてください。取付方向はフィルター貼付の銘板を参照してください。

5. エアフィルター室ふたを取り付けます。

1と逆の手順でエアフィルター室ふたを取り付けてください。

外装・ドレンパンの清掃のしかた

外装

- 柔らかい布でからぶきしてください。
- 汚れがとれないときは、水でうすめた中性洗剤にひたしてよく絞った布でふきとった後、からぶきしてください。

お願い

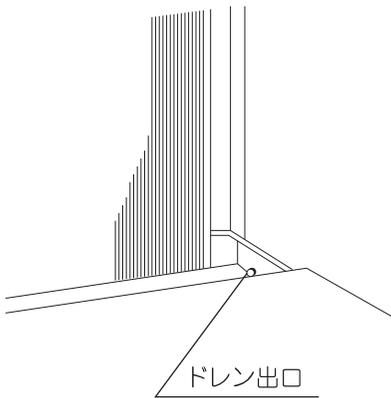
- ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。
- 50℃以上のお湯を使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。

ドレンパン

- 前板上部を開けると、ドレンパンが見えます。

《清掃のしかた》……………

- ドレンパンおよびドレン出口に付着しているホコリやゴミを取り除き、ぬれた布などでふいてください。
- ドレンパンの出口穴に、ホコリやゴミが詰まる場合があります。



凝縮器の洗浄

エアコンを長期間使用していると凝縮器に水アカ・コケなどが付着するので1シーズンに1回洗浄してください。水アカ・コケなどが付着すると冷房能力が低下し、たびたび安全装置が作動して正常な運転ができない場合があります。水質の悪い地域では洗浄ひん度を多くしてください。洗浄時期および方法については、お買上げの販売店にご相談ください。

クーリングタワーの清掃のしかた

ストレーナの清掃

- 冷房シーズン始めには必ず清掃し、ご使用中は2週間に1度は清掃してください。ゴミやドロがたまると、水量が低下し、故障の原因になります。

1. ポンプ・クーリングタワーの電源をしゃ断します。

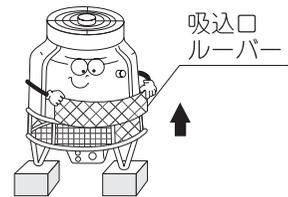
2. 水を抜きます。

クーリングタワーの補給水弁を閉じてから、排水弁を開けてください。



3. 吸込口ルーバーを外します。

吸込口ルーバーを固定している取付具を外してください。

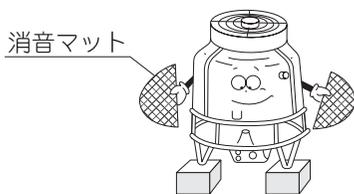


お願い

- 補給水には上水道を使用してください。
- 上水道以外の水を使用される場合は、必ず水質検査を実施してください。水質が悪いと薬品を投入したり、排水量を多くする必要があります。特に、井戸水は凝縮器に水アカが付着しやすいのでご注意ください。詳しくは、お買上げの販売店にご相談ください。

4. ストレーナを外します。

- ①消音マットを取り外してください。
上部ストレーナが見えます。



- ②上部ストレーナおよび下部ストレーナは、
とってを持って引き上げると外れます。

(ストレーナの形状および外しかたは、
クーリングタワーによって
多少異なります。)



5. 清掃します。

ストレーナ本体を水洗いしてください。

6. ストレーナを元の位置に 取り付けます。

消音マット・吸込口ルーバーも元の位置に
取り付けてください。

7. 水を入れます。

排水弁を閉じてから、補給水弁を開けて
ください。
水面は強制ブロー管より2~3cm下になるように
調節してください。



水槽の清掃

- 水槽は1か月に1度程度は清掃してください。
砂ボコリの多いところや、工場の近くでは、
清掃回数を多くしてください。
- 水槽内の水は強制ブロー管により、水質の悪化を
防いでいますが、工場や鉱山の近くでは、
水質検査を行い、水質によっては薬品を投入して
ください。
詳細は、お買上げの販売店にお問合わせください。
- 強制ブロー管は、亜硫酸ガスなどが、クーリング
タワーの循環水に吸収されて、エアコン内部の
機器を腐食するのを防ぎます。
運転中は一定量の水を強制的に排出します。

1. 水抜きおよび、吸込口ルーバー・ 消音マット・ストレーナを外します。

前ページのストレーナの清掃手順を参照して
ください。

2. 清掃します。

水槽内をブラッシングしながら水で洗い流して
ください。
ストレーナ・消音マットも同時に水洗いして
ください。

3. ストレーナ・消音マット・ 吸込口ルーバーを元の位置に 取り付けます。

お
願
い

- クーリングタワーを長期間運転していると、
徐々に水質が悪化し凝縮器に水アカが
付着したり、腐食したりします。
必ず強制ブロー(連続的に循環水の一部を
排出させ水質の悪化を防ぐ)を
行ってください。
- 強制ブロー装置の付いていないクーリング
タワーを使用の場合は、定期的に
水槽内の水の入替えを行ってください。

シーズン始め・終わりのお手入れ

シーズン始め

確認してください。

- エアコンおよびクーリングタワーの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？
障害物がある場合は取り除いてください。
- ファン用ベルトがゆるんだり、切れたりしていませんか？
ゆるみがひどいと、送風機の故障の原因になります。

エアフィルターと外装を清掃してください。

- エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。
清掃のしかたは  ページ参照

クーリングタワーのストレーナと水槽を清掃してください。

- ストレーナは清掃後必ず取り付けてください。
- 清掃のしかたは  ページ参照

クーリングタワーの水槽に水を注いでください。

- 水面は強制ブロー管より2～3cm下になるように調節してください。

電源を入れてください。

シーズン終わり

晴れた日に半日ほど送風運転をし、
内部をよく乾燥させてください。

- 送風運転のしかたは  ページ参照

電源をしゃ断してください。

- 電源が入っているときは、
数ワットの電力を消費します。
節電のためにも電源をしゃ断してください。

エアフィルター・ドレンパン・外装を
清掃してください。

- エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に
戻してください。
清掃のしかたは  ページ参照

クーリングタワーをご使用の場合

- ①クーリングタワーの補給水弁を閉じてください。
- ②クーリングタワーの排水弁および水配管内で
一番低い位置にある水抜弁を開いてください。
水抜きは以上の方法で確実に実行してください。
不明な点があれば、お買上げの販売店に
ご相談ください。

水抜きを行ってください。

(水抜きの方法はお買上げの販売店に
ご相談ください。)

- 冷房シーズン終了後の凝縮器および
クーリングタワー内
- 暖房シーズン終了後の温水または蒸気配管

エアコンのメンテナンス (サービスマン用)

⚠️ 注意

- ここから記載しているメンテナンス作業はお客様自身で行わないでください

ケガや機器の損傷の原因になることがあります。



⚠️ 警告

- 作業の前に必ずすべての電源 (エアコンおよびオプション品など) をしゃ断してください



●ファン用ベルトの確認のしかた

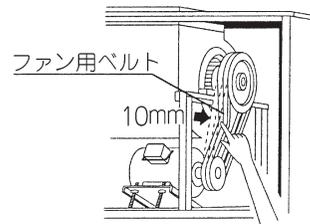
- ①前板を外してください。
ファン用ベルトが見えます。
- ②Vベルト1本当たりの張力は、適正たわみ量Lを計算し、その時のたわみ荷重Wが下記範囲にくるようにしてください。

$L = 0.016 \times C$ (C: プーリーの軸間距離)(mm)

Vベルトの種類: A形 → $W(N) = 13.7 \sim 20.6$

Vベルトの種類: B形 → $W(N) = 22.6 \sim 34.3$

- ③1日に長時間運転される場合は、シーズン初めだけでなく、トータル運転時間2000時間を目安に点検してください。
(例えば、24時間連続運転の場合は、3~4ヵ月ごとに点検してください。)



●ファンベアリングの注油のしかた

- ファンベアリングは3~4ヵ月に1度注油してください。
注油不足になりますと、ベアリングの異常摩耗、異音発生の原因となります。
- グリース推奨品
シェル石油 (株) アルバニアグリースS3

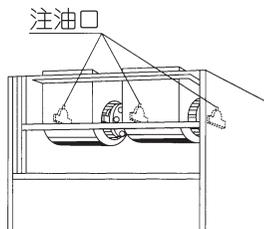
2. 注油します。

ファンの運転を円滑にするために軸受部には必ず注油してください。

使用条件		補給間隔
冷房シーズンのみ運転		毎シーズン始め1回注油
年間運転	冷房のみ	6ヵ月ごとに1回注油
	冷・暖房	3~4ヵ月ごとに1回注油

1. 前板を外します。

ファンベアリングの注油口が見えます。
(注油口数、形状は機種により異なります。)



お願い

- 注油時は危険ですから、必ず、電源をしゃ断してください。

お手入れについて

調子がおかしいときは

次の場合は、故障ではありません。

症状		原因
白い霧が出る	冷房時、湿度が高いとき (油分やホコリの多い場所)	エアコン内部の汚れがひどい場合に、 湿度ムラが生じるためです。※
	室温および湿度が低いときの冷房停止直後	冷却器表面の霧が蒸発し、 湯気となって出てくるためです。
音が出る	運転開始直後の「ジーン」という音	温度調節器が働いた後に発生する音です。 1分ぐらいで音が小さくなります。
	冷房時の「シュー」というかすかな連続音	エアコン内部にガス(冷媒)が流れている 音です。
	運転開始・停止直後の「シュー」という音	ガス(冷媒)の流れが止まる音、および 流れが変わる音です。
ホコリが出る	長時間運転停止後、 ふたたび運転を始めるとき	エアコン内部に付着したホコリが 吹き出るためです。
ニオイが出る	運転中	部屋のニオイ、たばこのニオイなどが エアコン内部で吸着されて 吹き出すためです。※

※エアコン内部の洗浄が必要です。洗浄には専門の技術が必要ですので販売店にご相談ください。

サービスを依頼される前にお調べください。

症状	原因	処置
全然運転しない	電源ヒューズが切れていませんか？	電源をしゃ断してください。
	電源ブレーカーがしゃ断していませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源ブレーカーのところがOFF位置の場合は、電源をONにしてください。 ● 電源ブレーカーのところがトリップ位置の場合は、電源を入れないでください。 (販売店にご相談ください。)  <p>電源ブレーカー</p>
	停電ではありませんか？	停電復帰後、ツマミまたはボタンを停止してから再運転してください。 (遠方操作でご使用の場合、自動で再運転したり、異常表示が点灯することがあります。)
運転すると すぐに止まる (安全装置が作動する要因) ※ (安全装置が作動する要因) ※ (安全装置が作動する要因) ※ (安全装置が作動する要因) ※ (安全装置が作動する要因) ※	エアコンおよびクーリングタワーの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？	障害物を取り除いてください。
	エアフィルターが目詰まりしていませんか？	エアフィルターの清掃を。  ページ参照
	運転中のクーリングタワーの中で、水が十分流れ落ちていますか？	水があまり落下していないときは、お買上げの販売店にご相談ください。
	ポンプおよびクーリングタワーを運転していますか？	ポンプおよびクーリングタワーの電源を入れてください。
	冷却水弁を十分開いていますか？	冷却水弁を十分開いてください。
	クーリングタワーの水槽に十分水がありますか？	クーリングタワーの排水弁を閉じていること。また、補給水弁が開いていることを確認してください。
	室内温度、冷却水温度が低すぎませんか？ (温水ヒーターまたは蒸気ヒーター組込時)	使用範囲内でお使いください。  ページ参照
よく冷えない、よく暖まらない	エアコンおよびクーリングタワーの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？	障害物を取り除いてください。
	エアフィルターが目詰まりしていませんか？	エアフィルターの清掃を。  ページ参照
	設定温度は適正ですか？	 ページ参照
	吹出グリル羽根を開めすぎていませんか？	羽根を調節してください。
	窓や扉が開いていませんか？	しっかり閉めてください。
	〔冷房時〕 直射日光が入っていませんか？	窓にカーテンがブラインドを。
	〔冷房時〕 在室人員が多すぎませんか？	
	〔冷房時〕 室内に熱源(OA機器など)が多すぎませんか？	

以上のことをお調べになったうえで、なお調子が良くないときはご自分で修理しないで、お買上げの販売店にご連絡ください。このとき、症状と機種名をお知らせください。(機種名は底フレームに取り付けている銘板に記載しています。 ページ参照)
 ※処置後、運転停止ボタンを1度押してから再運転してください。

次の場合は販売店へご連絡ください。

 **警告**

●異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源をしゃ断する

異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご連絡ください。



症状	次の処置をしてから連絡を
電源ヒューズ・電源ブレーカー・漏電しゃ断器などの安全装置がたびたび作動する。	電源を入れないでください。
運転スイッチの作動が不確実。	電源をしゃ断してください。
エアコンから水がもれる。	運転を停止してください。

エアコンの機能を幅広くご利用いただけるように、専用部品を用意しております。
ご購入の際にはダイキン純正品とご指定ください。詳しくはお買上げの販売店にお問合わせください。

警告

●別売品の取付けは、自分でしない

別売品は、必ず当社指定の製品を使用してください。
ご自分で取付けをされ不備があると、水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。



- 温水ヒーター・蒸気ヒーター …………… これらのいずれかを取り付けることにより、冷暖房機として年間を通じてご利用いただけます。
- 蒸発皿式加湿器 …………… 暖房運転される場合、これらのうち、いずれかを取り付けることにより、室内を適当な湿度に保ち、快適な暖房運転ができます。
水スプレー式加湿器
蒸気スプレー式加湿器
- 木 台 …………… エアコン本体と床の間に木台を入れることによって床への振動が防止されます。

アフターサービスと保証について

アフターサービスについて

警告

●分解や改造・修理をしない

水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。



●移動・再設置は、自分でしない

据付けに不備があると、水もれ・感電・
火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。



●冷媒がもれたら火気厳禁

エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常もれることはありませんが、万一、冷媒が室内にもれ、
ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買上げの販売店にご連絡ください。冷媒もれの修理の
場合は、もれ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。



フロンについて



- 1) 地球温暖化防止のため、この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類を回収する必要があります。
- 2) フロン類の種類、冷媒番号、地球温暖化係数及び数量。

機種形番	UCDPS775C(Y)	UCDPS950C(Y)	UCDPS1180C(Y)
種類・冷媒番号	HFC・R407C		
地球温暖化係数	1770		
冷媒数量(kg)	9.0	10.3	13.0

※1 この表示は本機に温暖化ガス(フロン類)が封入されていることを、ご認識いただくための表示です。

■修理を依頼されるときは 次のことをお知らせください。

- 機種名
 - 製造番号と据付年月日
 - 故障状況 — できるだけ詳しく
 - ご住所・お名前・お電話番号
- } 保証書に記載してあります。

■無料修理保証期間経過後の修理について

お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。
当社は、このエアコンの補修用性能部品を製造打ち切り後9年間保有しています。

■保守点検契約のおすすめ

エアコンを数シーズンご使用になると内部が汚れ、性能が低下することがあります。
分解や内部清掃には専門の技術が必要ですので、通常のお手入れとは別に保守点検契約(有料)をおすすめします。

■点検と保全周期の目安について

[保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

表1は次の使用条件が前提となります。

- ①ひんぱんな運転・停止のない、通常のご使用状態であること。
(機種により異なりますが、通常のご使用における運転・停止の回数は、6回/時間以下を目安としています。)
- ②製品の運転時間は、10時間/日、2500時間/年としています。

●表1. 「点検周期」および「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]	主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間	バルブ(電磁弁など)	1年	20,000時間
電動機		20,000時間	センサー (サーミスタ、圧力センサーなど)		5年
ファン		13年	ドレンパン(注3)		8年
プリント基板類		25,000時間	スイッチ類		25,000時間
熱交換器		5年	ヒューズ		10年
膨張弁		20,000時間			

- 注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
 注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。
 また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。
 注3. ビル管理法の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。
 注4. 「保全周期」および「交換周期」は、使用条件（運転時間が長い、発停ひん度が高いなど）や使用環境（高温、多湿など）がきびしくなると短縮する必要があります。
 詳しくは、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにご相談ください。

●消耗部品の交換周期目安について

[交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

●表2. 「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期	主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	5年	ファン用ベルト	1年	5,000時間
高性能フィルター		1年			
ヒューズ		10年			

- 注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
 注2. この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。

詳しくは、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにご相談ください。
 なお、当社が指定した業者以外による分解や内部清掃に起因する故障については、保証対象外となる場合がありますのでご注意ください。

●移設および廃棄などについて

●転居などでエアコンを移動・再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにご相談ください。

この製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。

●この製品を廃棄またはリサイクル（部品や材料の再利用）する場合には「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊・書面管理が義務付けられています。

●この製品を移動・再設置する場合で、冷媒回収が必要なときは「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊が義務付けられています。

いずれの場合も、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにご相談ください。

●ご不明の場合は

アフターサービスについては、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにお問合わせください。

保証書について

●この製品には保証書がついています。
 保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載事項をお確かめのうえ、エアコンを管理している方が大切に保管してください。

保証期間…据付日から1年

詳しくは保証書をよくお読みください。

●保証期間内に無料修理を依頼されるときは、販売店またはダイキンコンタクトセンターにご連絡のうえ、修理に際して「保証書」を必ずご提示ください。
 ご提示のない場合は、無料修理保証期間中であってもサービス料をいただくことがありますので、保証書は大切に保管してください。

お客様ご相談窓口

商品に関する修理・消耗部品のご用命や取扱いのご相談など
全てのお問い合わせは **ダイキンコンタクトセンター** へご連絡ください。

ダイキンコンタクトセンター
(お客様総合窓口)

 **0120-88-1081** (全国共通フリーダイヤル)
フリーダイヤル
FAXでのお問い合わせは **0120-07-0881** (FAX専用フリーダイヤル)
<http://www.daikincc.com> (ご相談対応ホームページ)

営業時間：24時間365日対応いたします。

対応業務：商品に関するすべてのご相談・お問合せをお受けいたします。

(空調機の修理・メンテナンス・取扱い・機種選定・および別売品・消耗品・補用部品の販売など)

株式会社ダイキンアプライドシステムズ

お客様メモ

ご購入店名 _____

TEL. _____

据付年月日 年 月 日

3P408754-1B

UM15Y005B